

介護相談員活動
相談・観察への対応と手法
—事例検討のために—



介護相談員活動 相談・観察への対応と手法
—事例検討のために—

A4判／70頁 2016年3月発行

550円(税込)

※購入申込フォームからお申込み頂けます。

→ [購入申し込みフォームへ](#)

介護相談員の活動事例から、介護サービスの質の向上に役立つ普遍的なテーマを取り上げ、具体的な取り組みと対応のポイントをまとめた1冊。

入居者の要介護度の重度化、認知症の入居者の増加等により、介護相談員の活動においては、入居者からの訴えによる相談業務以上に、介護相談員の訪問時の観察が、より大きな比重を占める傾向にある。介護サービスの現場で生じている課題が「なぜ起きているか」という原因を探り、対処法を導き出す手がかりを見出し、各自治体で研修を行う際の一助とするための冊子。

目次

はじめに

①食事関連

刻み食は味気ない
青果が食べたい
漬物が食べたい
ご飯が美味しくない
お雑煮が食べたい

②施設的环境

災害時の避難経路の確保を
施設の汚れが気になる
ベッドを窓際に移してほしい
テーブルと車椅子の高さが合っていない
本棚の本が取りづらい
備品の置き方に危険を感じる
何故ベランダの窓に施錠してあるの
壁に作品を飾りたい
ベッドを壁につけてほしい
有線放送が聴きたい

③医療・健康・リハビリ

在宅介護が出来ないことが心苦しくストレスである
病院に受診されることを提案
食薬分離のご提案
リハビリがしたい
もっとリハビリがしたい

④職員の対応やケア

同じことを何度も言わせないで
同じ時間に迎えに来てほしい
息子の結婚式に出席させたい
男性スタッフの介助は恥ずかしい
車イスで上手に移動できるようにしたい
オムツにそのまま便をしてくださいといわれたが
部屋ではなく浴室で脱衣したい
自宅へ帰って暮らしたい
家に帰りたい
お茶の1杯でも差し上げてはいかが？
施設に伝えて
利用者の安全・プライバシーの確保がされていない
友人に会いたい